

図書館では、日本十進分類法に従って本を並べています。
今回は、0類から9類までの本で、みなさんの学習に役立ちそうな本を紹介いたします。

0類 総記「図書館を使い倒す！」015/チ

大学図書館の使い方が書かれています。皆さんが志望する大学の図書館は、高校生の入館を許可しているでしょうか？入館受付で断られないための言い方がわかります。受験の小論文や面接前に準備ができるように、新3年生の皆さんにお勧めです。



1類 哲学「神社の見方」175/ト

登校途中に神社の前を通る方もいらっしゃるかもしれませんね。身近にある「お稲荷さん」や「八幡さま」は、いつ、どうしてできたのか？イラストや写真でくわしく紹介されています。



2類 歴史「コンニャク屋漂流記」288/ホ

みなさんの家に屋号はありますか？「屋号ってなに？」と思っている方も、おじいさんやおばあさんがいらっしゃるなら訊ねてみてください。いなかの家には、屋号のある家が多いです。この本は、「コンニャク屋」という屋号を持つ人が、ルーツを探すお話です。



3類 社会「四人はなぜ死んだのか」368/ミ

この本のもとには、中学の夏休みの宿題としてのレポートです。医学や薬学の知識をもたない中学生が、インターネットを武器にして「毒入りカレー事件」に挑んでいく過程にまず驚かされます。読み物としてもおもしろく、レポートの書き方のお手本としても秀逸。



4類 自然「三つの石で地球がわかる」458/フ

みなさんは、お墓参りに行くことはあるでしょうか？著者によると、日本の墓石はほとんどが花崗岩なのだそうです。墓石って、たしか黒や赤もあったはずだけど…？

この本を読むと、お墓に行って確かめてみたくなります。



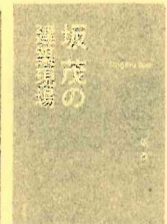
6類 産業「羊飼いの暮らし」645/リ

日本人に人気のある観光地となっているイギリス湖水地方。湖水地方で600年以上続く羊飼いの家に生まれた著者は、勉強なんて大きらい。高校を中退し、羊飼いの仕事をしていました。しかし、あることがきっかけになり、大学進学をめざします。



5類 工学「坂 茂の建築現場」523/ハ

坂茂さんが建てた建築の解説やパースを集めたもの。阪神淡路大震災のあと建てられた「紙の教会」は、材料が紙管なので、ボランティアの手で建てることができたことなど、興味深い話がいっぱいあります。



6類 産業「本当はすごい森の話」652/タ

酸素を供給してくれる森は、人間には不可欠。しかし、森の世話をする林業家にとって、現代は厳しい時代です。なにしろ、植えてから50年たった立派なスギの木がたった700円しかないのですから。著者は、この時代を生き抜くため、知恵をしぼっています。



7類 芸術「この絵、誰の絵？」720/サ

どこかで見たことのある絵が次々に出てきます。世界史の資料集に載っている絵もありますよ。美術館や博物館にいく前に読んでおくと、さらに楽しめそうです。



8類 言語「なるほど漢字物語」821/コ

「親」、「新」、「薪」などの漢字には、似ている部分がありますね。なぜなのでしょう？白川静さんの説明を読めば、関連文字がつぎつぎに覚えられます。



9類 文学「苦役列車」913.6/ニ

みなさんと同じくらいの年齢の少年が、日雇い人夫として生きていきます。暴力と妄想、そして自己顕示欲。カッコ悪いけれど、この主人公は誰の心の中にもいるはずですよ。



9類 文学「OUT」913.6/キ

この小説の主人公は、ちょうどみなさんのお母さんくらいの年齢です。ふつうの主婦である主人公が、あることをきっかけに、日本小説史上初といわれているくらいハードボイルドな女性に変身していきます。それがすごくカッコいいです。

